

永年会

## ディ・キャンプ

ともすればスキーや釣りなど趣味性の高いものに片寄りしがちな永年会のイベントに、誰もが気軽に参加できる物もできるだけふやしていく、という趣旨で7月29日(土)永年会ディキャンプが行われました。当初の目的地は清流板取川、長良川の支流です。その上流に位置する「杉の子キャンプ場」にはキャンプサイトの他、2メートルほどの高さから川に飛び込める「猿飛の岩」があったりして休日を過ごすにはもってこいの場所になる……はずでした。しかし、おりからの台風接近で気紛れな天気悩まされた週末、永年会のメンバー32人(十中国人留学生2人)には思いもかけない展開が待っていたのです。

6:30 当日の朝の名古屋の天気は晴れ、前日悩みに悩んだ末に「決行」を決めた横山隊長や幹事を含む「場所取り先発隊」は、ほぼ全ての食料、機材を積んで意気揚々と出発したのですが、東海北陸道へ入ると郡上八幡以北は通行止めとのこと、いやな予感か頭をかすめます。美濃インターで高速を下り、長良川沿いに出たとたん予感的中、川はすでにカフェオーレ状態、いわゆる「わんど」のなかにも濁った水がドンドン入ってきています。それでも支流である板取川の上流部なら…と淡い期待を抱いていました。8:30現地へ到着、みんなの「涼しいとこだねえ」という言葉も空しく山々にこだまする中、結局「これ以上水かさが増えれば人命に関わる」という横山隊長の判断で8:30出発の後発隊にTEL、場所を両隊の中間位置にある「ハイウェイオアシス川島」に変更、泣く泣く現地をあとにしました。それにしても、あれが1週間前に下見した時に泳いだ同じ川とは……改めて自然の脅威を目のあたりにした気がしました。

9:40ハイウェイオアシスに全員ほぼ同時に到着、ここは実験用の人工河川もありバーベキュー施設等もある、とてもユニークなサービスイリア(厳密にいうと川島PAに併設されている独立した施設)です。早速場所と必要機材のレンタルを済ますと、待っていたかの様に「思いっきり」の通り雨。でも、すでに「なんでも手伝うゾ」状態の会員諸氏の気迫に後押しされ準備開始。—森松では社員全員が、順番に忘年会や、慰安旅行の幹事をつとめますが、皆が幹事の苦勞、特にトラブった時の幹事の心情を察することができるから、こういったイベントが成功(たぶん)できるのだと、強く感じました。—程なく雨も止み、ちょっと暑かったけど13:00迄とても楽しくおいしい時間を過ごすことができました。

前日仕事を終えてから野菜を切ってくれた女子社員の皆さん、三重訪問の婦りに松坂牛を買い、ホルモンを表面カリカリ、中をジュージューに焼上げてくれた加藤さん、森松トラックでビールを買ってきてくれた伊藤さん、オーダーに応じて焼そばや焼うどんを作ってくれた通称「火起こしの松井さん」、マイチェアやマイテーブルを持ってきて下さった牧野さん、西田さん、岩間さん、自家用車も出してくれた6名の運転手(大橋さん、西脇さん、谷沢さん、妹尾さん、服部さん、坂さん)の皆さん、色々的確な判断やアドバイスをいただいた横山会長、光田副会長(?)、雨の中機材を運んでくれたその他の皆さん、どうもありがとうございました。

来年は大名古屋ビルヂングでビアパーティーの予定ですが、再来年、もう一度、今度こそ板取川でやりましょう、悔しいから…。

永年会ディキャンプ幹事・坂本 隆志



“ <http://www.morimatsu.com/> ”

『人間はみな一時的な健康者にすぎない』

作者は24歳のときに、「難病中の難病」とされている進行性筋ジストロフィーを発症し、現在首から下の運動機能が完全に失われ、自分ではまったく動くことが出来ません。手足から始まり「筋萎縮」が、やがて首の筋肉のは、そう遠い日のことではないんでくるのは、もう遠い日のことではない。この病氣は薬もないし、治療法も確立されていません。

そんな現実に直面し、作者は恐怖心と絶望感の中から生きがいを見つけ出し、残りの人生を堂々と過ごしている。自分のハンディを逆手に取り、福祉ビジネスに参入していくスゴイ経営者の実話です。

彼は難病になってもなんでもないのを失って来たけど、その結果とんでもない、ビジネスチャンスを発見した。

自分の死と直面しながら、よくぞ、「これほどかいかい商売になる！」と着想したものです。そして介護・福祉産業ビジネスを成功させました。

「親が死んで・ほっとする国なんて」日本の国はおかしいのではないかと、高齢化社会を迎えた日本の福祉政策に警鐘を鳴らしたのです。

また「健康者」という言葉をわれわれは使いますが、「常に健康人」なんていう人間はこの世にいない。いつか自分も「障害者」になるのだ、遅かれ早れ:「人間はみな、一時的な健康者にすぎない」と作者は言っています。

私自身も近い将来「障害者」になるのだ。



森 信之  
(夏季読後感)

## モーリンワールド

### 「段取りで勝負は決まり」

「段取りで仕事は80%決まる」モーリン語録にも記載されているのは皆さんご存知であり、段取りで仕事の効率は全然違ってくる。80%は愚か（仕事の内容では）100%も120%にでもなることを確信した。

最近よく、マジキリ、カーテンの取り付け施工の依頼があり、営業のM氏と同行するが、完全完璧で一度もミスがないのに感心した。ご存知の方も、そうでない方も、マジキリの施工は、簡単なようでたいへん難しい仕事です。一つ間違えば大変なロスになってしまう。そこで、現場の下見と段取りが重要になる訳です。取りつけ場所、取りつけ場所の足場確認、間口の寸法、取り付ける部分の材料が何か、取り付けに必要な小道具の選定まで全部が重要になります。M氏の完璧さは、ビス1本のようなビスを使用するか、取りつけ順番でどちらからやると、早くできるか全部把握したうえで私に要請があり同行する。2人で2時間の仕事と予想し現場へ直行。何事もなく、予定通り2時間で終了する。前もった確認と段取りで、作業時間も読める。もし確認不足と段取りの悪さがあれば、現場へ行ってから当然問題が発生する。問題が現場で手直しできそうなら良いが、そうでない材料不足、材料寸法不足、必要な小道具の忘れ等々、現場が遠い所だと、改めて出直しする結果になってしまいます。当然利益なしの大損害になる訳で、段取りの重要性が問われます。

段取りの良し悪しで勝負は決まるのだ！

横山 敏秋

## 喜怒哀楽

### 「花火は、キレイ？」

毎年、打上げ花火を観に近場の長島へ行っていますが、帰りの渋滞が気になります。でもついつい足をはこんでしまいます。

たまたま、子供にせがまれて久しぶりに公園へ花火をやりに行つた際あちらこちらで花火をやっている人々を見かけました。眺めていても色々な花火があつてとてもキレイです。やっている人も観ている人もそう感じとれる時かもしれませんね？

しかし、たまたまと思うのですが、朝散歩がてらに公園を通つて見てビックリ。使用済みの花火があちらこちらに散乱しているではありませんか！

皆さんは守っていますか、マナーを！



西垣 浩司



## 暮らしのエッセイ

### 「旅」

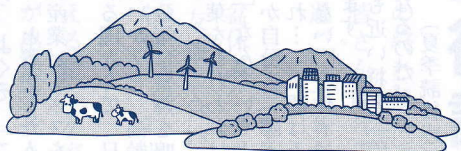
益休みに、中学時代の友達3人と一緒に九州小倉競馬ツアーにいつてきました。途中、交通事故渋滞に4回もはまり、一般道を通つては迷子になり、挙げ句の果てには行き止まりでした。それが面白いのです。

レンタカーを借り、行き当たりばったりでなんでもありの旅です。もちろん宿なしで、公園でテントを張り野宿、風呂はもろろん日帰り温泉、その土地の名物を食べました。なぜか福岡の中州でトン骨ラーメンを食べるはずだったのが寝過ごしてしまい、食べられなかったのがとても残念です。

3日間一緒にすごすと、一人ひとりの個性や癖がわかり意外な一面がみられて面白いです。私は「寝返りが多い」と言われてしまいました。こんな旅でしたが、また機会があればいきたいと思えます。



松井 宜和



## 初の中国出張

牧野さんといっしょに3泊4日で初の中国出張へ行かせてもらいました。  
輸入商品の検品と商品収集が主な目的でした。

- 初 日：上海への移動と上海営業所の直樹君・倪さんと日程打ち合わせ。
- 2 日目：康萊・合群を訪問。工場見学・商談。IKEAにて商品収集
- 3 日目：一裕・俊泉を訪問。工場見学・商談。
- 4 日目：康萊、范社長と商談。帰国。

こんな日程で4日間の上海を過ごしました。



出発前には、中国出張経験がある諸先輩より たくさんの情報を頂けたお陰で精神的にかなりのプレッシャーでした。有難う御座いました。心配事が、早くも行き機内食から始まるとは……自分でもビックリしました。上海到着後の一言が「暑い」。37度の暑さ・人ごみの熱気・上海独特のほのかな香り・怖いほどの自転車の大群・タクシーの運転の荒さ・あちこちから聞こえてくる車のクラクション・物価の安さ……。見るもの、聞くものすべてが初めての経験でした。工場見学をして、クーラーが無い事に驚いた。我々は幸せだと思った。「人海戦術」を目の当たりにして、価格面でのメリットを痛感した。

サンプル展示室では、日本の有名企業へ輸出しているであろう商品をたくさん目にした。出所が同じであれば「価格競争」になるであろう。そんな商品もすでに経験しつつあるのも事実である。

広い中国だから どこかにもっともっと素晴らしい会社があるに違いない。広い中国でどんな方法で探し出すのか？どこの国で何を作れば一人勝ちできるのであるだろうか？

今回の上海出張でいろいろと考えさせられるようになった。

今回の出張は、いろいろな意味で貴重な経験をさせてもらいました。今後の営業活動において必ずプラスになることと思います。

帰国後、プレッシャーのあまり4kg体重減です。

何から何まで本当に有難う御座いました。

伊東 郁二

## 第8回「元気が出る森松展」

テーマ “MT革命” ～情報は今、森松から世界へ～

(MT:モリマツ・テクノロジー)

日 時 平成12年10月12日(木) 9:00～17:30

13日(金) 9:00～17:00

14日(土) 9:00～17:00 (予約者のみ)

場 所 森松株式会社 本社5Fホール

森松展実行委員長：安井 浩二・岩間 正美・吉岡 孝記

## 上海的生活

みなさんこんにちは。私現在夏休みを  
利用して日本に帰っています。つくづく  
日本は発展した国であると感じることが  
帰ってから本当に良く感じます。なぜか  
と言うと「清潔」であると言うことでし  
ょうか。どこにもごみは落ちていません。  
逆にきれいな感じがするんじゃないかと思っ  
ともあります。

さて、上海でも夏と言えば蚊が出てき  
ます。日本のものよりもやや強く、何よ  
り蚊取り線香やマットではなかなか防ぎ  
きれません。そこで上海では日本では公  
園などに使われる誘蛾灯のようなものが  
家庭用に小さく売られて売っております。  
ピンからキリまでいろいろな値段のもの  
がありますが、家で蚊に悩まされる私も  
試しに一つ買ってみました。15元です。  
(200円ほど) 使い方は単にコンセントに差  
し込むだけ。果たして効果は？

：あまり使えませんでした。しかし夜  
刺されるにもかかわらずたまに一匹ほど  
誘蛾灯にかかっているのを見ると、全く  
効いていないということでもなさそう  
です。最終的にはやはり蚊帳でも吊って寝  
るしかないようです。



森 直 樹

2000年

9月の予定



1日(金)	宮岸さん誕生日
2日(土)	第一土曜日休み オカモト丸八会 インドネシア明和見学 (9月5日帰国)
3日(日)	数井さん誕生日
9日(土)	第二土曜日休み
12日(火)	生地卸(三協化成産業)
13日(水)	誕生会 G.D.N 16時00分
14日(木)	安井さん・妹尾さん誕生日 改善会議 18時00分
15日(金)	敬老の日
16日(土)	第三土曜日休み
20日(水)	ユース会(名鉄犬山) 17時30分
21日(木)	横山さん誕生日
22日(金)	青経祭(キヤッスル)
23日(土)	秋分の日
25日(月)	経営会議 7時30分
26日(火)	営業会議 15時10分
27日(水)	田口さん誕生日 17時30分
29日(金)	編集会議 17時30分
	生産会議 18時00分

## English Lesson!

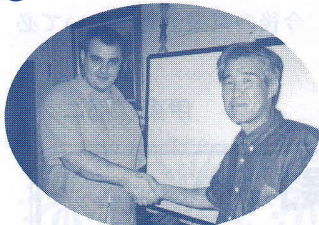
月に約3回、火曜日の18:30から約2時間、本社3Fのその空間はもう国外。公用語は「英語」になっています。

初回の授業は大変印象的でした。前日にあった顔合わせで、日本語を流暢に話していた先生が、授業のほぼ100%を英語で進めたのです。生徒の私達は目を白黒させながらも、別世界を楽しみました。また、毎回の授業は余韻を残した絶妙のタイミングで先生が授業を終えるので、8ヶ月間という期間もアツという間に過ぎる予感がします。

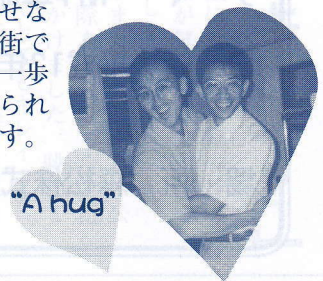
学校で何年も英語を習ったのに話せない自分達が、8ヶ月でペラペラになるとは到底思えませんが、街で外国の人に英語で話しかけられたら、一歩下がるのではなく、一歩進んで「すみません、あまり英語分かりません」と笑顔で答えられるようになるのが目標です。



"My name is Takashi"



"shake hands"



"A hug"



"We can speak English"

Teacher : Trevy Organ  
Students : Toshi Taimura , Koji Yasui ,  
Takashi Sakamoto , Mineo Seo ,  
Taka Hattori , Tomoe Hattori .

## 編集後記

暑い暑い夏の終わりが近づきました。皆さんは今年の夏はどうお過ごしでしたか。

私は短いお盆休みに実家に帰り地元の友達と合ひ、また家族と共にゆつくりと過ごしました。

今では年に数える位しか家族で揃うことが出来ませんので長期休暇はなかなか会うことのできない家族と友達との大変貴重な時間になっています。

次の機会はお正月かな。



服部 高久

